



20年に一度の「お木曳行事」に
従業員 100 名が参加
NTN株式会社

NTN株式会社(以下NTN)は、社会貢献活動の一環として、2015年5月、三重県桑名市内で開催された、「七里の渡し場・伊勢国 一の鳥居建て替え奉祝祭(お木曳行事)」に参加しました。

桑名の港「七里の渡し」にある「一の鳥居」は、20年に一度、伊勢神宮の宇治橋外側の鳥居ほうえいしやを移して建て替えられています。その御用材を奉曳車ほうえいしやに積むと、約6トンにもなり、約2,000人の参加者が綱を曳いて運ぶのが「お木曳」行事です。

当日は、桑名地区および本社の従業員および家族約100名が、「エンヤ！」という元気な掛け声とともに1.8kmのコースを2時間かけて綱を引き、ゴールの七里の渡しまで奉曳車に積まれた御用材を運びました。

NTNは、1918年に桑名で創業し、2018年には創業100周年を迎えます。現在、中期経営計画「NTN 100」において、お客さまにとって Co-creative(共創的)なパートナー企業への変革を目指していますが、地域社会においても、積極的に地域行事に参加するなど「良き企業市民」として地域を支える存在となり、次の100年も持続的に成長してまいります。



ゴールとなった「七里の渡し」と
建て替え前の前の「一の鳥居」



沿道にはNTNロゴが入った
「のぼり」も掲示



NTNの従業員と家族、約100名が参加